

秘水とケイ素ナノコロイドミネラル水

アクアクララ社では水道水又は原水を RO 膜処理後オゾンガスを添加してガロンボトル水を製造しています。RO 膜処理すると、有害物質が殆んどゼロになり、ミネラル成分が減少します。オルガノ社でも、家庭用浄水器に RO 膜を使用しています。

そのため、ガロンボトルの水工場では、RO 膜処理後にミネラルを添加していますが、いずれも、粒子の大きいミリコロイドとなっており、ミリコロイドには有機物が付着しているので、味が良くありません。また、磁気エネルギー や電気エネルギーを与えていないので、イオン化せず、アクアポリンを通過してミトコンドリアに到達できないので、機能水なりません。

テクノス社では高速循環式活水装置の濾材にケイ素とサンゴカルシウムのセラミックボールを使用し、フンザ水より 100 倍以上の効果のあるフラナガン博士の発明した機能水と同じです。ケイ素ナノコロイドミネラルは高速循環式活水装置の中で摩擦しあって発生するので、RO 膜処理後の飲用水の硬度は 5mg/L 前後となります。(フラナガン博士の HP : <http://urx.mobi/zu9n>)

水の機能性は成分である溶質ではなくて、エネルギーを作り出すミトコンドリアと ATP の機能が回復する溶媒です。

フラナガン博士とテクノス社との製法の相違点はフラナガン博士は蒸留して純水を作りますが、テクノスは RO 膜で純水にします。蒸留水には水のおいしさを感じる炭酸ガスと酸素がなくなるのでおいしくありません。

※ナノコロイドミネラルは 100 万分の 1mg という非常に小さい粒子なのでアクアポリンを通過することが出来ます。粒子が大きいサプリメントはアクアポリンを少量しか通過出来ないので効果は低いです。

高速循環式活水装置によりケイ素ナノコロイド水に磁気エネルギーが付加されアクアポリンを通過し、ケイ素のナノコロイド水は体内酵素により溶解された時に活性水素が発生し、活性酸素によりキズがついたケイ素が主成分のミトコンドリアを修復出来る機能水が製造出来ます。

水素ガスを添加した水素水は開栓するとすぐに気化して殆ど含有量はゼロになりますが、ケイ素ナノコロイド水の効果はボトル内ではケイ素ナノコロイドは溶解しないので長続きします。

中国の原水には、発がん性物質の硝酸性窒素や臭素酸など汚染が酷いため、RO 膜を使用することが必須と考えております。

中国及び東南アジアではカビ発生を防止するのにオゾンガスを水に添加してボトリングしていますが、オゾンガスを添加しますと臭素酸が原水よりも数倍増加するので政府はオゾンガスの使用をしないように指導していますが実行されていません。

中国及び東南アジアには、無菌濾過及び無菌充填プラントメーカーがないからです。

低速で完成度の高いプラントメーカーはテクノス社だけです。